

● CAN'STONE 内壁施工要領 (接着剤張り工法) ※水掛のない場所

適用下地:珪酸カルシウム板 (比重 1.0) (石膏ボードを除く) / 構造合板 / モルタル下地

石材施工用接着剤 (推奨:内装用壁面擬石タイル キャン'ストーン用接着剤 MS-20) を使用し施工を行ってください。適合下地は接着剤の施工方法を確認ください。

※推奨下地:ケイカル板 8 mm 厚以上 (比重 1.0)、フレキシブル板 8 mm 厚以上、合板 12 mm 厚以上

1. 下地処理

a. モルタル下地の場合

下地の点検を行い、清掃を行ってください。モルタル下地は、十分な養生期間をとり完全に乾燥していること、不陸の少ないことを確認してください。

b. ボード (ケイカル板 比重: 1.0) / 構造合板下地の場合

下地がしっかり固定されていること、継ぎ手部分などに不陸がないことを確認してください。

※推奨厚: 8 mm 以上

※ポイント※

◎寒冷期に施工する場合、気温が 5 °C 以下の時や、施工後養生中に 5 °C 以下になることが想定されるときは施工を行わないでください。

2. 張り付け作業の準備

複数のカートン内からストーンを取り出し、作業場に仮置きしてください。全体的なイメージを作り、貼り付け作業を開始してください。

3. 接着剤塗布

MS-20 (内装用壁面擬石タイル キャン'ストーン用接着剤) を 7 mm のクシ目ゴテを使い下地に塗り付けてください。一度に塗る面積は、張り付け可能時間内にストーンを張り終わる面積にしてください。

◎有効接着面積が 70 % 以下の場合は、クシ目の大きいゴテを使用し、下地に塗り付ける MS-20 (内装用壁面擬石タイル キャン'ストーン用接着剤) の量を増やすか、ストーン裏面に塗り付ける MS-20 (内装用壁面擬石タイル キャン'ストーン用接着剤) の使用量を増やしてください。

4. 張り付け

1. ストーン裏面をブラシなどで清掃した後、石材用接着剤を使用して張り付けてください。

※使用する接着剤の施工方法を確認の上、施工してください。

2. 施工する場所にコーナー部がある場合は、コーナーから張り付け作業を始めてください。コーナーピースには長手と短手がありますので、互い違いに張り付けていきます。

3. フラットピースの張り付けには、まず大きめのストーンをはめ込んでいく要領で進めてください。

5. 養生

張り付けの接着剤が硬化するまで、夏季 1 日以上、冬季は 3 日以上外圧が加わらないように養生してください。

6. 目地入れ、仕上げ

1. 目地部に目地袋などを用いて弊社目地材の MT-MEJI を充填してください。目地材は CAN'STONE の厚みの 1/2 ~ 同面位まで入れ、足りないところは十分補充してください。

2. 目地仕上は、充填した MT-MEJI が硬化する前に目地ゴテなどでしっかり押さえた後、ササラやブラシを使って荒めにかきすじをつけるように仕上げてください。

※ポイント※

◎目地ゴテのコテむらがついても気にせず仕上げ、最後にササラやブラシなどを用いて、所々ひっかくように上げると、目地が風化したように見せることができます。

◎目地無し施工はしないでください。

◎目地は石の厚みの 1/2 ~ 同面位までかぶるように施工してください。

7. 養生 / 清掃

通風、直射日光を避け、シート張りなどで養生してください。施工後十分な養生期間をとり、完全に乾燥していることを確認後、ストーン表面のダストや目地のダストを十分にブラッシングしてください。

◎ CAN'STONE はセメント二次製品となりますので、酸洗いは厳禁です。

6. 目地入れ、仕上げ

